



曝気試験

アンモニア、硝酸、酢酸水溶液等を使った曝気試験を行います。

曝気試験について

- 各種材料や部品等は、使用される環境により求められる耐久性が異なります。そのため様々な薬剤を用いた曝気環境での評価が求められます。

Ex. 銅材料(部材)の耐アンモニア性試験
めっき材料の評価に使われる硝酸曝気試験

水溶液と曝気試験条件(試験可能容器や温度) など

- 図に曝気試験の概略を示します。

デシケータ内に必要なガス成分を含んだ水溶液を置いて曝気環境を作ります。
デシケータ内のガス成分の飽和蒸気圧に対する分圧(濃度)は、水溶液中の成分濃度と等しくなります。
デシケータを炉内に入れて、デシケータ内のガス温度を設定できます(室温～50℃程度)。
ガスによっては、検知管によりおおよそのガス濃度を確認できます(室温)。

- 表に主な試験と規格を示します。

炉(室温～50℃程度)

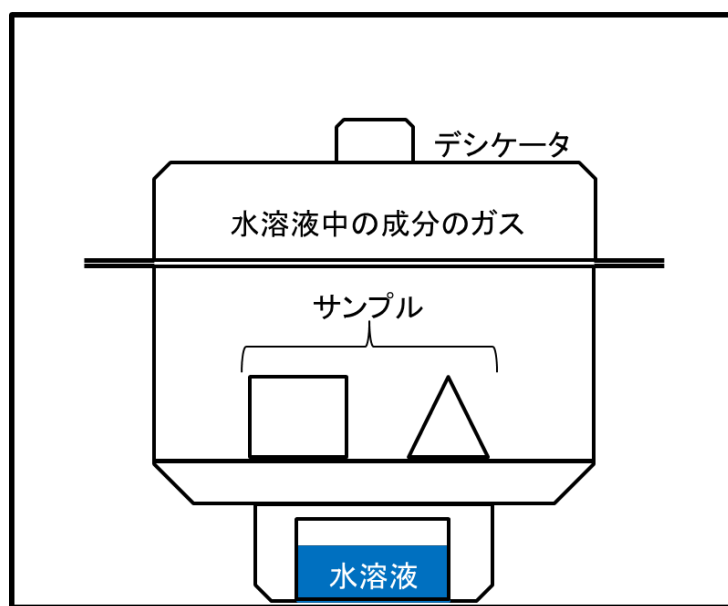


図 曝気試験の概略

表 主な試験と規格

試験	規格
アンモニア試験 (時期割れ試験)	JIS H 3250 JIS H 3300 JIS H 3320
硝酸曝気試験	JIS H 8620

※ 記載された薬品等は一例です。まずはお気軽にご相談ください。

※ 曝気試験後の観察(SEM等)や調査も承ります。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2023 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。